東大和市　リアルタイム事務事業評価調書①

【　　生物多様性保全　　事業】

記入日　令和　5　年　10　月　16　日

基　本　情　報（A・B）

A）施策、根拠法令等

担当部署	部	市民環境部	課	環境対策課	係	環境公害係
基本施策	5　環境にやさしいまちづくり				事業種別	補助・助成を受けている業務
					継続・新規	継続して実施している事業
分野別施策	施策5　－　1　自然環境【重要施策】				事業予算額	
	－				7,255　千円	
展開方向	☑ 緑と水辺環境の保全・活用					
	☐ 緑の拠点とネットワークづくり					
	☐ 緑と花があふれるまちづくり					
根拠法令等（あれば）	第二次東大和市環境基本計画					

予算科目			
会計			一般会計
款	4		衛生費
項	1		保険衛生費
目	7		環境保全費
事業番号			7

B）事業内容・対象

市の魅力向上に寄与する事業	○	人口減少抑制に寄与する事業	

事業概要 （何をする事業か）	本事業では、狭山丘陵内で実施する以下の2つの事業により、生物・自然の再生を図るものである。 ①市内にあるニツ池(ニツ池公園内)については、元来豊かな在来生物・植物が生息し、景観も豊かな市民の憩いの場所であったとされている。しかしながら、この十数年は抜本的な池の生物・自然に係る対策を講じることができず、現在では外来生物・植物が数多く生息しており、在来の生態系が大きく歪められている状況である。そのため、第二次東大和市環境基本計画「施策⑤生物多様性の保全・再生【重点】」において実施することが明言されているかいぼりの実施及び外来生物の防除等付帯的な取組みを実施することで、ニツ池の生物・自然再生を図るものである。なお、令和４年度には、かいぼり等を実施するために、文献調査やヒアリング調査を実施し、令和５年度以降の取組に係る方針を作成した。 ②国と東京都で絶滅危惧種に指定されているトウキョウサンショウウオの産卵地であった狭山丘陵(土砂崩れ地点)は、著しく環境に変化があり、現在、近隣の湧水地点(私有地内の池)で産卵しているが、年々確認できる卵の数が減少している。そのため、新たな産卵地を選定し、整備する必要がある。令和５年度に適切な産卵地を複数選定するための調査を実施し、その結果を基に、令和６年度以降、新たな産卵地として設置するとともに、周辺環境や外来種防除を行うことで、種の絶滅を防ぐものである。
事業の対象	①ニツ池を中心とした公園内の自然環境、生息する在来種の回復及び保全。 ②絶滅危惧類のトウキョウサンショウウオの保全、産卵地の再生。

現年度(令和5年度)に実施中の事業について（C・D・E・F）

C）目標・目指す状態　※市民意識調査の結果を目標値にはできません（施策評価の目標であるため）。

※「○○意識を高める」「理解を深める」等といった成果が測れないものは不可とします。必ず効果が数値化できる目標にしてください。

	目標・目指す状態	単位	目標数値
①	ニツ池の外来種が駆除された状態	匹	外来種の確認数 0匹(全駆除)
②	調査により、トウキョウサンショウウオの産卵地として適切な場所を選定	箇所	適地選定数　1箇所
③			

D）前年度と変更した点はありますか？　※事業の実施を経て、見直し、解決すべきだと考えたことを元に変更した点

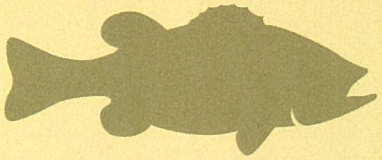
☐ 有 ☑ 無	変更した点→ 無の理由→	ニツ池自然生物再生事業については、前年度調査の実施及び整備方針を作成し、今年度は、昨年度作成した整備方針に基づき実施するものである。

E）見直し状況　※変更（見直し）については、どの程度進んでいますか

F）令和５年度中の進捗状況（予定含む）　※進捗状況はなるべく時系列に沿って記入してください。	
①	ニツ池：4月からニツ池公園における現地生物調査を実施。（年間通して実施する。）
②	ニツ池：7月3日から約1ヶ月間、当該事業における保全活動のボランティアを募集し、21人の応募があった。応募者を対象に8月～10月に計5回のボランティア育成講習会を実施。
③	ニツ池：10月2日～10月12日に東大和市 ニツ池かいぼり（イベント）の参加者を募集。６０人以上の応募があり、抽選により定員30名を当日参加者とした。
④	ニツ池：11月1日付けで「東大和市狭山丘陵保全班」（保全活動のボランティア）へ１７人登録し、11/4から活動開始となる。
⑤	ニツ池：11月11日に東大和市ニツ池かいぼり（市民参加型イベント）及び外来種駆除を実施予定。
⑥	ニツ池：東大和市ニツ池かいぼり直前から2月下旬頃まで、ニツ池の水を抜き、池底を干し上げる予定。また、その間に池周辺の環境整備を実施(外来種スイレンの除去や池周辺の浅場（湿地帯）整備など)
⑦	ニツ池：2月下旬までに実施した環境整備内容を踏まえて、今後の整備方針を必要に応じて修正し、次年度の実施内容を定める。
⑧	ニツ池：整備した環境維持(外来種の持込防止)を目的とした事業周知のため、10月に「東大和ニツ池だより」第2号を発行、3月に「東大和ニツ池だより」第3号を発行予定。
⑨	トウキョウサンショウウオ：5月から委託事業者による市立狭山緑地内のトウキョウサンショウウオ産卵地再生研究調査が開始。年間を通して、自然環境(水量や水質)調査及び植生調査を実施する。
⑩	トウキョウサンショウウオ：1～3月に産卵候補地における調査（自然環境調査・植生調査）の結果を基に、委託事業者と協議の上、来年度以降の実施内容について、方向性の検討を行う予定である。
⑪	
⑫	

参加者募集！

東大和市 二ツ池かいぼり



二ツ池を自然豊かな池に再生するために、池を干して外来魚を捕まえます。
在来種の魚やトンボがたくさんすむ環境を取り戻しましょう！

2023年 11月11日(土) 9:30～12:30

少雨実施。荒天の場合は翌12日（日）に順延

場所：東大和市　二ツ池公園　※参加は要申込

申込期間
10/2(月)～10/12(木)

応募はコチラから！

生態工房　検索

※参加の注意などの詳細情報あり

対象：小学3年生以上
（4年生以下は保護者同伴）
定員：30名（抽選）
持ち物：泥汚れしてもよい服装、
長靴や胴長靴、あればバケツやタモ網

- 生きものの持ち帰りはできません。
- 体調のすぐれない方は参加をお控えください。

見学自由！

- 生きものの展示や解説コーナーもあります。
- 付近に駐車場はありません。
- 駐輪場が狭いので、できるだけ徒歩かバスをご利用ください。

干し上げ期間（12月～2月）にも池を再生する作業イベントを予定しています。
詳しくは、今後市ＨＰなどでご案内します。

東大和市コミュニティバス「ちょこバス」
循環ルート「二ツ池公園」下車

※写真はすべてイメージです

主催：東大和市　　運営・問合せ：認定NPO法人 生態工房（平日10時～19時　0422-27-5634）

東大和市　リアルタイム事務事業評価調書②

【　　生物多様性保全　　事業】　記入日　令和　6　年　3　月　26　日

実績報告・事業分析

A）リアタイ評価会議での意見・助言等

①	本事業は、単年度で効果が出るものではないため、市民ボランティアを育成し、市職員とともに事業を続けていくことが望ましい。
②	狭山緑地のボランティアである「雑木林の会」と協力して事業を進める方向性も検討してはどうか。
③	本事業に関しては関連部署を改めて整理し、次年度以降対応しても良いと考える。
④	
⑤	

B）上記意見を受けて、対応したもの　及び　参考としたもの

①市民ボランティアを募集し、「東大和狭山丘陵保全班」を組織した上で、かいぼりイベント以外にも複数回の活動を行い、ボランティアの育成及び体制づくりを図った。
②上述のボランティアには、「雑木林の会」のメンバーにも加入してもらい、活動を行った。また、「雑木林の会」の定例会にも継続的に参加し、事業の内容等情報共有を行うことで、協力体制の構築を図った。

C）R5年度の実績（事業の実績を示す数値　又は　事業の目標としたものの結果）※市民意識調査の結果は不可とします。

	実績の説明	単位	目標値	R5実績値	【参考】R4実績値
①	二ツ池で駆除した外来生物の数	匹	全駆除	393	-
②	調査により選定したﾄｳｷｮｳｻﾝｼｮｳｳｵの産卵適正地の数	箇所	１箇所	２箇所	-
③					

□ 数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由を記載してください）

数値結果がない理　由	

R5実績は去年と比べて	☑ 向上した ☐ 例年通り ☐ 低下した ☐ その他	左記とした理由　又は　分析等（向上・低下した要因等）：数十年手付かずであった二ツ池の環境改善(かいぼりによる水質改善や外来種の駆除等)に着手したことや、絶滅危惧種のﾄｳｷｮｳｻﾝｼｮｳｳｵの産卵適正地の調査を通し、「市民が身近な場所で水や生き物と親しめることができる水辺環境の保全・活用」及び「狭山丘陵に生息する貴重な生き物の保全活動などを通じた生物多様性の確保」を図ることで「環境にやさしいまちづくり」という市の魅力向上に繋げることができたため。

D）分析（令和5年度の実績を踏まえて）　↓該当する1つに○をつけてください↓

①この事業の**有効性**は 費用対効果（コスパ）、執行体制の状況、手法として最適か　等	○	高かった		普通だった		低かった

①の理由：二ツ池を中心とした生物・自然環境改善を今後複数年放置した後に着手した場合や、現在よりも絶滅に進んでしまった種の保全を図った場合、より莫大な予算が必要になることが見込まれるため、現段階における事業着手は長期的な目線での費用対効果は高いものだと考える。また、ボランティアや市民参加型での事業実施は、環境啓発の効果を持ちつつ、マンパワーの活用という意味でも執行体制として最適だと考える。

②この事業に対する**市民のニーズ、反応**は 市民の反応等を踏まえて回答してください。	○	高かった（良かった）		普通であった		低かった

②の説明：池の周辺に居住している市民の方々からは、作業中やイベントの際に感謝や激励のお言葉を多くいただいた。長年の水質の悪化による異臭や、スイレンが水面を覆う異様な光景が、改善の兆しを見せ始めたことで好意的な反応を示してくれていると実感している。複数回実施したｲﾍﾞﾝﾄ参加者のアンケート結果も、満足度と継続要望の声が非常に多く、総じて好意的な反応であった。また、ﾄｳｷｮｳｻﾝｼｮｳｳｵの調査事業についても、古くから親しみを持って見守ってきた市民の方々(特に蔵敷地域の方)や、ﾄｳｷｮｳｻﾝｼｮｳｳｵの成育・放流を行っている９小の児童や教員の方々からも好意的な声が上がっている。９小児童とは今までも放流等は一緒に行うなどしていたが、本事業をきっかけに、ﾄｳｷｮｳｻﾝｼｮｳｳｵを通した環境啓発の授業(本事業受託事業者と９小連携事業に市も参加)を行うなど、より深く環境について学ぶ機会の創出に波及できている。

③この事業における**市民協働・共創**の余地は ※「市民協働」及び「共創」については別紙1をご確認ください。	○	多くの余地がある		余地がある		余地がない

③の説明：上述のように、ボランティアや市民等と既に協働を行い、体制の土台づくりは行っている事業ではあるが、より多くの方々にも参画いただき、より一層の事業の発展に寄与できる余地は多くあると考えている。

④この事業が今後市の類似事業と**統合・再構築**できるか ※市で行っている類似の事業がある場合のみ回答		可能である		検討の余地がある		不可能である

④の説明：類似の事業はない。

⑤**近隣市の類似事業と比較して**充実している事業か ※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答		他市より充実している		他市と同程度		他市の方が充実

⑤の説明：類似の事業はない。

⑥**東大和市独自の個性**を出している事業か	○	市の特長、個性を出せる事業である		他市と同程度 個性はない		

⑥の説明：自然豊かな狭山丘陵を抱え、その中でも数少ない整備された湧水地である二ツ池や、東京都最西端のﾄｳｷｮｳｻﾝｼｮｳｳｵの生息地である点など、水と緑と笑顔が輝くまちを将来の都市像として掲げる東大和市の独自の自然環境という個性を活かした事業であると考える。

東大和市　リアルタイム事務事業評価調書③

【　　生物多様性保全　　事業】　記入日　令和　6　年　3　月　26　日

反省・今後の方向性

A）来年度以降の課題や見直すべき点	※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。
①	かいぼりイベントを毎年実施する事業だという誤認防止に留意する(事業内容・意図の正しい発信をより心がける)。
②	外来種の駆除や絶滅危惧種の保全を通じ、自然・生物再生を図ることが市の魅力向上につながることを強く発信する。
③	着手した自然・生物再生の事業を継続できるよう、内部調整や各関係者との連携を引き続き図る必要がある。
④	より多くの市民や、協力者に参画又は認知してもらえるよう、啓発の方法や回数増を積極的に行う必要がある。
⑤	

B）来年（令和６年度）の取組予定	※事務予定または、改善事項を記入してください。
①	かいぼりイベントとしては実施しないが、引き続きニツ池を中心とした自然・環境の改善作業(外来種駆除等)を行う。
②	ニツ池内の生物・植物モニタリング調査、普及啓発
③	ﾄｳｷｮｳｻﾝｼｮｳｳｵの産卵池整備、モニタリング調査、外来種対策
④	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱとの協働で上述した取組を行う。
⑤	

C）上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等	※記入日時点で必要と考えられる準備事務について記入。
①	事業を委託する各NPO法人や協働で事業に取り組むボランティアとの事業内容、進捗方法の調整。
②	「雑木林の会」や第９小学校等、各事業と関連する対外的な組織との情報共有。
③	本事業については、ニツ池公園や東大和市立狭山緑地を実施場所としていることから、管理者である土木公園課公園緑地係との、共同での事業実施が前提となっている事業である。そのため、今後の事業実施について、組織改正の後も、継続して、同担当らと密な連携をとり、強力な横のつながりを維持しつつ事業に臨む必要があると考える。
④	
⑤	

事業コスト　（　6　年　3　月　26　日 時点　）

予算科目			事業番号		予算名称	
	款	4				
	項	1		5		生物多様性保全事業費
	目	7				

R5予算額及び決算額　※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。　単位：円

R5予算額		R5決算額(暫定)		【参考】R4決算額	
事業費合計	7,255,000	事業費合計	7,238,000	事業費合計	1,518,200
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
12 委託費	7,255,000	12 委託費	7,238,000	12 委託費	1,518,200
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	2,418,000	一般	3,284,000	一般	759,200
国	2,420,000	国	1,540,000	国	
都	2,417,000	都	2,414,000	都	759,000
市債		市債		市債	
その他		その他		その他	

※R4はニツ池調査事業のみ実施